

末永 隆一



指揮者、作曲家。指揮法を小松一彦氏に師事。音楽理論を高原博文、増田宏三両氏に、作曲を田中利光氏に師事する。1975年、作曲家グループ「屠」の同人となり、《弦楽とテープのためのポエム》を発表し絶賛を博した。1977年6月《弦楽のための三つの舞曲》を発表、音楽之友社より出版（レンタルライブラリアン）される。また、イタリア大使館の依頼により聖イグナチオ教会においてイタリアの作曲家ペローシーの作品演奏会を指揮する。また同年11月、セルジュ・チェルビダッケの指揮法ゼミナールを受講する。1977年東京工業大学管弦楽団指揮者就任。1978年大岡山フィルハーモニー協会音楽監督就任。同年11月《オーケストラのための前奏曲》を発表1979年東京ガルテンシュタットオーケストラ常任指揮者就任。1980年石巻ウィンドーアンサンブル音楽監督就任。1987年東京工業大学の依頼により百周年記念記録映画に音楽監督として関わり、そのとき発表した記念行進曲《オーケストラのための・燕々舞い上がれ》は絶賛を博し、それ以来同大学の入学式・卒業式等の式典には毎年演奏されている。1982年オーケストラ・タセット常任指揮者就任。1997年高津市民オーケストラ常任指揮者就任。2000年、2005年に行われたかわさき市民《第九》コンサートの指揮をする。2001年みやぎ国体実行委員会の依頼によりミュージカル《斎太郎物語》を作曲。2006年NPO法人東京オペラ協会30周年記念事業オペラ《ザビエル》を指揮する。また同年第1回かわさき市「みんなでコンサート」を指揮する。2008年合唱団「夢十夜」、オーケストラ「夢十夜」の音楽監督に就任し、《レクイエム》を中心とした合唱とオーケストラ作品の演奏活動を始める。2011年モーツァルトの音楽をたのしむ会の理事に就任。モーツァルト作品のレクチャーコンサート活動を始め、プロフェッショナルズ・オーケストラの音楽監督・常任指揮に就任する。

現在作曲活動の傍ら数多くのオーケストラや吹奏楽団の指導を手がけている。その指導は楽譜に対する深い洞察力とそれに基づいた演奏解釈を基幹としており、大変定評がある。主な作品には管弦楽のための《アラ・マーチ》、バス・トロンボーン五重奏《奇妙な踊り、そしてセレナーデ》吹奏楽とバス・トロンボーンのための《ラブソング》、トロンボーン四重奏曲《フィクルネス》などがある。

現在プロフェッショナルズ・オーケストラ音楽監督・常任指揮者、モーツァルトの音楽をたのしむ会理事、オーケストラ夢十夜音楽監督、合唱団夢十夜音楽監督、東京工業大学管弦楽団指揮者、大岡山フィルハーモニー協会音楽監督、東京ガルテンシュタットオーケストラ常任指揮者、高津市民オーケストラ常任指揮者、石巻ウィンドーアンサンブル音楽監督、末永隆一指揮法教室主宰。

★ホームページ <http://r-suenaga.com/index.html>



川村 文雄

福井県丸岡町（現坂井市）出身。5歳より故・黒木京子女史よりピアノの手ほどきを受ける。1996年、国際交流事業派遣員として渡米。帰国後、桐朋学園大学音楽学部演奏学科を首席で卒業し、同時にNTTドコモ賞受賞。

同大学在学中より第67回日本音楽コンクールピアノ部門第2位をはじめ、第4回かわさきアカデミア音楽コンクール第1位、第1回東京音楽コンクールピアノ部門第2位など、多数の主要な国内コンクールで優勝・入賞を果たす。さらに第51回マリア・カナルス国際音楽コンクール（スペイン）ピアノ部門第3位、第23回ポツォーリ国際ピアノコンクール（イタリア）最高位（1位なしの2位）およびロタリー特別賞を受賞、これらの実績から江戸川区文化奨励賞を最年少で受賞する。

2002年のデビューリサイタル（日本ショパン協会主催・東京文化会館小ホール）以降は各地で様々なソロ活動を展開しながら、故ジャン・フルネ（指揮者）、小林研一郎（指揮者）、伊藤京子（ピアニスト）、マイケル・ダウス（ヴァイオリニスト）各氏等、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、チボリオーケストラ等と多岐に渡り共演。近年は現代曲の国内初演やテレビドラマの吹き替え及び演技指導などジャンルを超えたアーティストとのコラボレーションに取り組み、同郷の作曲家である今川節（いまがわせつ）の音源化プロジェクトにも携わる。

これまでに大野真嗣、広瀬康の両氏等に師事し、マルタ・アルゲリッチ、ディーナ・ヨッフエ各氏等のレッスンも受講。

現在、桐朋学園大学音楽学部および洗足学園音楽大学ピアノ科非常勤講師。

★川村文雄オフィシャル ウェブサイト <http://kawamurafumio.com/>

★川村文雄オフィシャル ブログ PIANISTANCE <http://kawamurafumio.com/blog/>

プロフェッショナルズ・オーケストラ

東京近郊に在住のモーツァルト好きのプロ演奏家達が集まり、モーツァルトの作品の研究と演奏を目的に2010年に発足した室内オーケストラです。私たちの目的は音楽の中に込められたモーツァルトのすばらしさを多くの皆様と共にわかちあうことです。そのためにモーツァルト作品の持つ旋律の明るさや楽しさ、時には哀愁を帯びた甘美な旋律、作品の中に込められた喜び、悲しさ、魂の救いを求める叫び、そして心を癒す優しさを求め、そこで交響曲ばかりでなく常に多彩なソリストを招き、オペラやコンチェルト、そして室内楽とあらゆる分野に渡り演奏をしていきます。モーツァルトの演奏を通じてクラシック音楽のすばらしさを皆様とともにわかちあい、ともに感じあうことが出来たらしあわせと考えております。

FAXでのお申込書 044-944-3171

2012年9月23日プロフェッショナルズオーケストラ
第2回 高津モーツァルト定期演奏会

チケット(2,500円)を()枚申し込みます。

お名前	
ご住所	〒
お電話番号	



※チケットは当日受付にてお取り置きさせていただきます。※お申込書の個人情報は「モーツァルトの音楽をたのしむ会」のご案内のみに利用します。